

乳がん（ステージ I）患者に対する 乳房温存手術の実施率



測定対象

《分子》 分母のうち、乳房温存手術を実施した患者数

《分母》 乳がん（ステージ I）の退院患者 * UICC 分類に基づく

解説

乳がんステージ I の治療として、乳房温存術は乳房切除術との比較で生存率に差がなく適応があれば乳房温存が推奨されています。近年では人工乳房を用いた乳房再建が保険適応になったこと等を受け、乳房切除をする選択するケースも増えています。なお、乳がん（ステージ I）の患者であっても、乳房温存治療法の適応外となる病態や状態があることに留意が必要です。

結果

2019 年度 60 %

2018 年度 47 %

分析

乳房温存手術の実施率は 50%前後です。大学病院の特性上、乳房の同時再建や 2 期的再建を実施しております。ステージ I 期に部分切除を選択せず、再建を希望し当院を選択される症例が増えています。